

2026年1月22日

\*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

## Audi Revolut F1 Team を正式発表：ベルリンでワールドプレミア

- アウディのファクトリーFormula 1 チームを初公開
- Audi R26 のレースリバリー、チームウェア、ドライバー用レーシングスーツを公開
- AUDI AG CEO デルナー「準備は整い、私たちは世界中の人々を魅了することに胸を躍らせています」

(ドイツ本国発表資料) 2026年1月21日、インゴルシュタット/ヒンヴィール/ベルリン：フォーリングスを掲げるアウディにとって歴史的な瞬間を迎えました。Audi Revolut F1 Team は、1月20日の夜(現地時間)、ベルリンにおいて正式にお披露目されました。ドイツの首都中心部に位置するイベント会場「クラフトヴェルク」において、約400名のゲストが、アウディのファクトリーFormula 1 チームの初公開に立ち会いました。

チームプレゼンテーションにおいて、AUDI AG CEO 兼 Audi Motorsport AG 会長 ゲルノート デルナー (Gernot Döllner) は次のように述べています。「本日、多くのピースが一つに組み合わさりました。集中的な準備が報われ、関係者のこれまでの努力が形となって公になることに、非常に感銘を受けています。今回、プロジェクトの持つすべての力が初めて公開されました。準備は整い、私たちはFormula 1 への参戦を通じて、世界中の人々を魅了することに胸を躍らせています」。

アウディは、3月8日にオーストラリアで開催されるレースにおいて、モータースポーツの頂点へデビューを果たします。Audi R26 は、ノイブルク アンデア ドナウの施設で開発されたドライブトレイン (power unit) を搭載し、AFR 26 Hybrid と名付けられます。このパワーユニットは、クリスマス直前にヒンヴィールの拠点において、シャシーに組み込まれた状態で初めてファイアアップされました。1月9日には、スペイン バルセロナのカタルーニャ サーキットにおいて、チーム初となる走行が撮影日の一環として行われました。

Formula 1 は、その歴史の中で最大の変革期を迎えています。レースシリーズは2026年に77シーズン目へと突入し、大幅に刷新された技術レギュレーションが導入されます。新しいレースカーの特徴は、走行中に調整可能なフロントおよびリアウイングを備えたアクティブ エアロダイナミクスです。従来の DRS (ドラッグ・リダクション・システム) は、「ブーストモード」に置き換えられ、ボタン操作により最大限の追加電動パワーを発揮します。この機能は、オーバーテイク時やディフェンス時に使用されます。最大 350 kW の電動モーターは、サステナブル燃料で走行する約 400 kW の 1.6 リッターV6 ターボエンジンに匹敵するレベルの出力を備えており、この分野においてアウディは英国企業の bp 社と独占的に協業しています。

ベルリンでのイベントでは、チーム代表のジョナサン ウィートリー (Jonathan Wheatley) と、Audi F1 プロジェクト責任者のマッティア ビノット (Mattia Binotto) が、レースリバリーやパートナー、そして新しいチームウェアと、アウディのドライバーであるガブリエル ボルトレート (Gabriel Bortoletto：ブラジル) とニコ ヒュルケンベルグ (Nico Hülkenberg：ドイツ) が2026年シーズンに着用するドライバー用レーシングスーツを発表しました。これらのチーム関連ファンコレクションは、2月19日よりチームの公式ウェブサイトおよび adidas を通じて販売される予定です。これらは、綿密にコーディネートされた全体的なビジュアル・アイデンティティの一部で、特定のカラーと新しいフォントファミリーを含む、独自のコーポレート・アイデンティティが Audi Revolut F1 Team のために開発されました。これにより、サーキットからソーシャルメディアでの存在感に至るまで、明確に区別されたアイデンティティを確立しながらも、ひと目ではっきりとアウディと分かるものになっています。チタニウムカラーは、アウディのモータースポーツの伝統に由来し、パフォーマンスと技術的精度を表しています。さらに Audi Red が新たに導入され、このチームを特徴づける色として使われます。

かつて「ミッテ ヒーティング工場 (熱供給施設)」として使用されていた独特な建築空間で繰り広げられた演出は、没入型のショーや、アウディのヒストリックレーシングカー、そしてアウディ史上最もパワフルな市販モデルなど、ビジュアル面での魅力をゲストにいち早く披露しました。Audi RS e-tron GT

performance は、システム出力 680 kW (925 hp) を誇り、Formula 1 マシンである Audi R26 に匹敵する性能を備えています。

Audi Revolut F1 Team にとって次の重要なマイルストーンは、1 月 26 日から 30 日にかけて、バルセロナで非公開で実施される、新世代 Formula 1 カーのテスト走行です。続くバーレーンでの公式テストセッション (2 月 11 日~13 日および 2 月 18 日~20 日) において最終テスト走行を行い、Audi R26 はアウディにとって初となる Formula 1 グランプリ参戦します。

### Formula 1 参戦は、アウディの戦略的再編の一環

Formula 1 プロジェクトはアウディにとって戦略的なフラッグシップで、ブランドの技術的、文化的、そして起業家精神の再構築を体現しており、お客様と従業員の双方を鼓舞することを目的としています。開発およびレース活動は、経済的に魅力的な枠組みの中で行われ、すべてのチームに適用されるコストキャップにより、明確に定義された予算と公平な条件 (イコールコンディション) が確保される一方、Formula 1 のグローバルなリーチによって、圧倒的なブランド露出とスポンサーシップの機会が得られます。電動パワー比率の拡大やサステナブル燃料の導入を含む技術レギュレーションの大幅な変更は、モータースポーツの頂点に新たな競争者として参戦するアウディにとって理想的なタイミングです。

モータースポーツはアウディの DNA の一部であり、常に技術進歩とイノベーションを推進する原動力となってきました。初のミッドエンジン・グランプリカーから、ラリーにおける quattro 四輪駆動、ルマン、Formula E、そしてダカールラリーにおけるディーゼル、ハイブリッド、電動パワートレインに至るまで、アウディは決断力、勇気、忍耐力、そしてチームスピリットをもって、すべてのモータースポーツプロジェクトを成功へと導き、常に新たな領域を切り拓いてきました。アウディの Formula 1 への参画は、こうした歩みをさらに発展させることを目的としています。

### メディア向けのコンタクトポイントとなる Content Hub

ベルリンでのチームプレゼンテーションと同時に、Audi Revolut F1 Team の新しい Content Hub もオンラインで公開されました。この Content Hub は、ニュース、インサイト、レースウィークエンドを中心とした定期的なアップデートなど、チームに関する限定コンテンツを集約する中核拠点として機能します。メディア関係者は、メディア配信リストに登録することで、今後のリリースや最新情報を受け取ることができます。[contenthub.audif1.com](http://contenthub.audif1.com)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様お問い合わせ：  
アウディ コミュニケーションセンター  
0120 - 598106



---

アウディグループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントにおいて最も成功している自動車・モーターサイクルメーカーの一つです。アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの4ブランドは13カ国・22カ所の生産拠点で製造を行っています。アウディとそのパートナーは世界100以上の市場に展開し、2024年、アウディグループは約170万台のアウディ、10,643台のベントレー、10,687台のランボルギーニ、54,495台のドゥカティモーターサイクルを販売しました。2024年度の売上高は645億ユーロ、営業利益は39億ユーロを計上し、12月31日時点で88,000人以上の従業員が在籍、そのうち55,000人以上がドイツのAUDI AGに勤務しています。アウディグループは、魅力的なブランドと多彩な新型モデルを展開しながら、持続可能で完全にネットワーク化された、プレミアムモビリティのプロバイダーへの道を体系的に進んでいます。

---

アウディは2026年、自社のワークスチームおよびドイツで開発されたハイブリッドドライブシステム（power unit）により、初めてFormula 1に参戦します。アウディのF1プロジェクトは3つの拠点を基盤としています。このプロジェクトのために特別に設立されたAudi Formula Racing GmbHは、ノイブルク・アン・デア・ドナウでpower unitの開発を担当しています。スイスのヒンヴィールでは、レーシングカーの開発に加え、レースのプランニングおよび運営が行われています。さらに、イギリスのビスターに設置されたUKテクノロジーセンターは「Motorsport Valley」の中心拠点として、トップクラスのF1人材および主要な戦略的パートナーへの直接的なアクセスを提供しています。

Formula 1はモータースポーツの最高峰と位置づけられており、そのグローバルなリーチにより、世界で最も重要なスポーツプラットフォームのひとつとされています。アウディ参戦のもうひとつの決定的な要因は、2026年から導入される新たなFIAレギュレーションです。このレギュレーションでは、持続可能燃料の採用に加え、ハイブリッドドライブユニットにおける電動比率が約50%まで引き上げられます。

---